

森里海連環の再生及び地域循環共生圏の実現に向けた連携・協力に関する協定 具体的な連携・協力について

森里海連環学の研究に取り組むフィールド科学教育研究センターと、地域循環共生圏づくり（森里川海プロジェクト）を実施する環境省自然環境局は、ともに「森から海までのつながりをとりもどし、その恵みを引き出しながら豊かに暮らせる社会を構築していくこと」を目指し、そのつながりの科学的な解明や、市民・地域と連携した社会活動を展開しています。目標を同じくする両者は、今後、連携協力して、普及啓発や研究・事業を行うことで、より効果的な推進を図ることとしました。

1. 普及啓発における連携

（1）シンポジウム等の共催・相互参画・周知による情報発信の強化等

＜2019年度内に予定されているシンポジウム等＞

・ 3月21日 京都大学・日本財団森里海シンポジウム 等

（2）双方の情報発信ツール（SNS等）を活用した情報発信の強化

双方の研究や事業の成果などを、双方がもつ様々な情報発信ツールを相互に活用し、より多様な主体へ情報発信を強化。HP、SNS等。また、関係者と連携して実施するイベント等。

（3）双方の情報発信資料等を活用した情報発信の強化

双方が作成した情報発信資料、展開するキャンペーン等を相互に活用・発信

2. 研究成果及び事業成果の共有

両者は、森里海連環及び地域循環共生圏の構築に向けて、相互に関わりの深い研究・事業を実施しており、双方で得た知見等を共有化することで、研究・事業の効果的な実施やさらなる成果を期待。

（1）京都大学フィールド科学教育研究センターの研究等（平成30年度～）

- ①森里川海の分断/連続と人間活動や生物多様性との関係性を解析。
- ②各地の多様な主体との協働による森里海連環の再生に向けた取り組み（京都府南丹市美山町等）。
- ③森里川海の様々な課題に気づき、行動に移していく教育活動を全国で展開。

（2）環境省の事業

- ①地域循環共生圏づくりモデル事業等（平成28年度～）
- ②地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業（令和元年度～）
- ③環境DNA技術を用いた淡水魚類の分布調査手法の標準化（平成30年度～）
- ④社会・生態システムの統合化による自然資本・生態系サービスの予想評価（平成28年度～令和2年度）